



今月の一文字

阿藤快氏が選ぶ
静岡の良さを表現する一文字。

あたたかくのんびりした静岡人。いい温泉も沢山あり。まさに静岡を現わす漢字。



著書のご紹介



阿藤快氏が見て食べて歩く人情商店街。庶民の生活に根付いている商店街。人情味溢れ個性的な商店街の数々を、職業旅人・ときどき俳優と自称する阿藤氏が紹介。周辺見所も盛り沢山掲載した散歩ガイド。

「阿藤快の商店街ぶらり歩き」

講談社ビーシー 1,143円(税別)

深海穴子等々。
そして日本いや世界二ではないでしようか？ミナミ鮪の水揚げ、そう清水です。50〜70以上の冷凍庫が清水に揃っているからだそうです。
そして鰻の養殖で驚かされます。鰻に四季を感じてもらおうと言う。なんと水温を変え、二年〜三年分、変化させると言う。天然鰻に近い物を作っている。
牛肉も、すごい。愛鷹牛。安くてうまい肉と、なんと肉屋のおじさんが作った伊豆牛。駿河牛。そしてA4・A5クラスの新しく出来た富士山和牛。内閣総理大臣賞をとっている遠州夢咲牛。
♪どうしたら良い牛が出来るんですか？♪と聞くと、♪じつと牛を見てやる事だ!!と言う。
日本一の御殿場の米、有東木の日本最初のワサビ棚、川根の見事なお茶、日本酒もすごいなあ。玩具の世界一もあ

ります。
この事を世間の人が知らないのが残念!! いい物がバラバラにあり、ひとつになつていない感じがします。これをひとつにまとめ、こんなにはすばらしい静岡を売るには。提案します。♪今年の富士山日本一!!と毎年、富士山を写真に撮ってもらい公募し、コンテストをする。その作品は一年間いろいろな所に使う。賞品も車一台とか、びっくりする様な物にする。
もうひとつの提案は、食の祭典を静岡県内で2〜3日かけて開く。レストラン、旅館、料亭等が参加し、ゲストを呼んでの食談をしてもよいと思います。
とにかく静岡県民が静岡の良さをものごと知る事が大切です。神奈川県出身の私が、静岡の良さをしみじみ感じています。

写真提供・静岡県(財)静岡観光コンベンション協会

